

龍ヶ崎市_令和7年度「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」推進支援業務

第3回プロモーション分科会

時間： 2026年2月16日（月）15：30～17：00

場所： 龍ヶ崎市庁舎附属棟2階 第1・2会議室

事務局：スポーツ推進課、合同会社デロイトトーマツ（ファシリテーター）

<分科会参加者>

- 総合政策部次長
- 総務部次長
- 健康スポーツ部次長
- 龍ヶ崎市観光物産協会
- 新都市ライフホールディングス
- (株)スポーツビズ（オンライン）

議論事項

- AKIYO's DREAM with RYUGASAKI の振り返り
 - 2/7,8 にて AKIYO's DREAM with RYUGASAKI を開催し、延べ 1,500 名程度が来場した。
 - ◇ 参加者）メインアリーナ内で実際にクライミングを体験できる設計があり、昨年度を超える盛り上がりを作れたと思う。
 - ◇ 参加者）今年は荒天のため難しかったが、たつこの山をはじめ、市内の屋外賑わいスポットにのぼりなどを打ち出していけるとよい。アリーナの玄関口にのぼりが並んでいる様子はインパクトがあった。
- 次年度以降のプロモーション方針に関する協議
 - 知るコンテンツ
 - ◇ 参加者）たつこのアリーナは奥まった場所にあるため、国道や牛久沼の通行人から目立つ場所でのイベント／PR ができるとよいのではないか。のぼりなどの広報物はさらに市内への掲出を増やせるとよい。
 - ◇ 参加者）広報物の配布もよいが、スタンプラリーなど自然に回遊する仕掛けを作った方が事業者も入り込みやすいと考える。
 - 体験コンテンツ
 - ◇ 参加者）定期的にイベントを行うことで市民に浸透していくため、頻度が大事になると思った。年間のスケジュールを立てつつ、市民が情報に触れる回数を増やせるとよい。事例を挙げると、簡易的なクライミングウォールを期間限定で開放していた店舗もあった。
 - ◇ 参加者）賑わいイベントなどに併催された体験会であれば行きたくなると思う。遊びの延長で機会を提供できるとよい。
 - ◇ 参加者）いがっぺ祭りをはじめ、たつこのこやま桜まつり、市民スポーツ・レクリエーションまつ

りでも壁を持ち込めると、市民の体験するきっかけ作りにつながると思う。

- ☆ 参加者) イベント時には、学校の部活動などスポーツに愛好心のあることも集団で呼び込む動きができるとよいと思った。

以上